



広報

たかはら

題字 先代理事長 瀬端 利男

2023

第159号

もくじ

1. 表紙
2. たけのこ園長挨拶/虐待防止に関する取組について
3. 競輪選手との交流会・クリスマス会
4. 新年会・節分
5. 春季余暇体験・夜間想定避難訓練・優良従業員表彰
6. あすなろ・あかしや
7. まろにえ・デイセンター
8. たかはら抄/ボランティア紹介他

社会福祉法人たかはら学園

- 障害児入所施設 たかはら学園
- 障害者支援施設 たかはら学園
- 障害者支援施設 たかはら育成園
- 障害福祉サービス事業 生活介護事業所
デイセンターたかはら
- 短期入所事業所
たかはら学園・たかはら育成園
- 放課後等デイサービス Kids たかはら
- 日中一時支援事業所 たかはら学園
たかはら育成園・デイセンターたかはら
〒329-1573 矢板市越畑 226 番地
TEL 0287-48-0304/FAX 0287-48-1927
ホームページ <https://www.taka.or.jp>
MAIL: jimu01@taka.or.jp
- 共同生活援助事業所 メゾンたかはら
・メゾンたかはら ・ハニーハイツたかはら
・アップルハイツたかはら
- 多機能型事業所 ワークスタかはら
〒329-2164 矢板市本町7番21号
TEL/FAX 0287-43-7940
- 矢板市障害児者相談支援センター
〒329-2164 矢板市本町7番21号
TEL 0287-40-0886/FAX 0287-44-0089
- こども発達支援センター たけのこ園
〒329-1576 矢板市石関1289-4
TEL/FAX 0287-48-3288



理事長

自動車安全運転センター 所長
大貫良之様

優秀安全運転事業所として銅賞を受賞しました。(R5.3.15)

表彰のために鹿沼の
運転免許センターから
来て下さったんだよ!



HARAくん



TAKAちゃん

4年連続受賞ですって。
みんなで安全運転を
続けていかないとね。



社会福祉法人 たかはら学園



「たけのこ園」の新たな取り組みについて
 こども発達支援センターたけのこ園 園長
 西部 雅昭

塩谷広域行政組合が行ってきた児童発達支援事業の「たけのこ園」が令和三年度をもって二十六年間の幕を閉じました。その後、この事業は指定管理者であった「社会福祉法人たかはら学園」に移譲され、令和四年度からは独自の事業として運営されています。たかはら学園は平成二十四年（二〇十二年）から二期十年にわたり「こども発達支援センターたけのこ園」を受託運営してきましたが、これを機に「たけのこ園」の創立から現在までの経緯を振り返り、これからの展望などを述べさせていただきます。

「たけのこ園」は、昭和五十九年（一九八四年）に塩谷地区に初めて就学前の障害児療育施設として、「矢板市母子通園ホーム」の名称で旧泉診療所（矢板市泉）に開設されました。その後、矢板市母子通園ホームは周辺市町村からの利用者が増加したことから、平成九年（一九九七年）に矢板市、さくら市、高根沢町、塩谷町の二市二町の施設として、塩谷広域行政組合に移管され、名称も現在の「たけのこ園」へと変わりました。

民間事業に先駆けた塩谷広域行政組合の児童発達支援事業は、親への援助の重要性から母子の早期療育に重点を置いた親子通園を行って来ました。しかし、時代とともに家族を取り巻く社会環境は変わり、共働き家庭の増加もあって、児童だけを預かる単独通園施設が多くなりました。指定管理業務を行って来た二期十年は、たけのこ園の利用が少しずつ減少し、難しい経営を迫られる状況でもありました。

今、矢板市から始まった障害児支援は、後に塩谷広域行政組合、そして、現在のたかはら学園の「たけのこ園」として引き継がれました。令和四年度からの「たけのこ園」の新たな出発は、障害児福祉が益々重要性を増す今、これまでの指定管理者の実績と経験をもとに、時代にふさわしい療育の在り方を目指してきました。それは従来からの運営にとらわれず、親子通園や単独通園の目的を十分に発揮したうえで、家族の事情にあった通園形態の選択、サービス提供時間の延長など、保護者にとって利用しやすい運営に変更しました。更に療育の専門性を重視し、個別指導や集団指導を通じて今まで以上に専門指導に取り組みました。また、在園児童が併用する保育園や幼稚園などと、療育支援に関わる情報を共有する取り組みを行うなど、児童の全人的な発達支援を目指してきました。そのことは、職員のコミュニケーションのスキルアップにもつながっています。

新たにスタートした「たけのこ園」は、県北圏域に受け継がれてきた児童発達達の歩みをこれからも大切に継承していきます。そして多様化する障害児の福祉ニーズを的確に把握し、専門的な早期の療育と家族支援を両立しながら、地域に根差した児童発達支援事業を目指していきたいと思えます。



虐待防止に関する取組について

たかはら学園では、利用者の人権を尊重した適切な支援が行われるよう、定期的に虐待防止委員会を開催し職員の意識向上を図るための研修や調査を行っています。

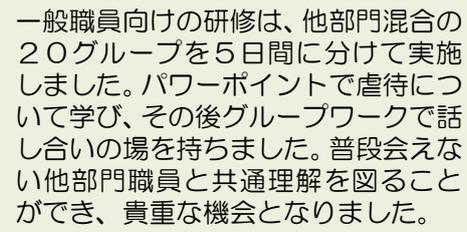


記事：池田貴子

【年間の実施内容】

- 職員に対する研修
- 広報誌の作成(事業所ごと)
- 虐待に関するアンケート
年2回→調査・指導
- 不適切事例の検証と
再発防止策の検討
- マニュアルの見直し等

研修



一般職員向けの研修は、他部門混合の20グループを5日間に分けて実施しました。パワーポイントで虐待について学び、その後グループワークで話し合いの場を持ちました。普段会えない他部門職員と共通理解を図ることができ、貴重な機会となりました。



障害者虐待とは

●障害者虐待とは

「障害者の尊厳を害するものであり、障害者の自立や社会参加を妨げる行為」

●対象となる人は

- 身体障害、知的障害、精神障害、発達障害を有し、そのほかの心身の障害がある人
- 障害や社会的困難によって、日常生活や社会生活が困難で、援助を必要とする人

●3種類の障害者虐待

1 障害者によるもの

障害者の身の回りや金銭の管理などをしている家族や親類、同居している人による場合

2 障害者福祉施設従事者等によるもの

障害者福祉施設や障害福祉サービス事業所などで働いている職員などによる場合

3 利用者によるもの

障害者を雇用している事業主などによる場合

障害者虐待の種類

<身体的虐待>

- なぐる、蹴る、つねる、手打ちする
- 部屋に閉じ込める・つなげられる
- 椅子などにしがらみつける
- 無断の食べさせる

<性的虐待>

- 必要なく体に触る・裸にする、キスする
- 本人の同意が得られない性交渉を有する
- 裸で強制性交渉を有する
- 性行為を強要する

<放逐・放逐(ネグレクト)>

- 食事や水分を十分な量・頻度の供給をしない
- 病気、けがをしても連絡がこない・入浴させない
- 他の職員からの虐待行為を放置する

<心理的虐待>

- 侮辱、ののしる、おどす、悪口を言う
- 差別に接する・仲間に入れない
- 侮辱する言葉を使う・子供扱いする

<経済的虐待>

- 年金や資産を不当に没収し、経済生活を困難にする
- 勝手に口座、貯蓄会を解約する

【研修資料より】

12月2日 競輪選手との交流会



あかしや

日本競輪選手会栃木支部から、山口貴弘選手・江連和洋選手・小池十啓選手・塚本勝土選手・佐藤悦夫選手が来てくれました！質問などにも答えて頂きました♪



まろにえ



あすなろ



デイセンター



競輪選手の方々と
交流をしました😊
一緒に写真を撮ったり
頂いたケーキを食べたりと
とても充実した時間を
過ごすことができました🌟



クリスマス会



あかしや



まろにえ

📅 12月10日 📅
サンタさんとトナカイがプレゼント
を届けてくれました🎁❤️
美味しいご飯とケーキを食べて
楽しいクリスマス会になりました🎄

記事:天野 裕美



あすなろ



デイセンター

お刺身が嬉しい♡

食事

新年会

記事:森 康繁

成人の祝い

リモート形式で、部門ごとに新年会を開催しました。各種表彰や、成人のお祝いを行い、和やかな雰囲気、式が行われました。

美味しいよ♪

1年元気に過ごせました

スライドショー

スマイルムービー

各種表彰式

健康優良賞

節分



記事:相馬 杏香

あすなろ

まろにえ



部門ごとに節分余暇を行い、
👹 鬼を外に追い出すことが
出来ました◎
皆様にたくさんの福が訪れ
ますように☆彡

あかしや

デイセンターは、感染症拡大により節分余暇が延期となってしまいましたが、あすなろ・あかしや・まろにえで、デイセンターの鬼も追い払いました⚡

春季余暇体験活動



2023年3月15日(水)春季余暇体験活動を行いました。今年も佐滝文具店様にご協力・ご来園いただき、利用者さんが買い物体験を行いました。部門ごとに少人数のグループで順番に体育館に行き、お財布と相談しながら買い物を楽しんでいました！



夜間想定避難訓練

3月8日(水)、夜間に食堂厨房から火災が発生した設定で避難訓練を行いました。今回は日中の時間帯に行いましたが、実際の夜間帯の(少ない)職員配置で避難誘導を行い、見守り職員を数名つけて実施しました。

夜間想定のため、利用者の皆様には各居室で待機してもらいました。(通常の訓練では、最初に集合して人数確認を行っています。)



今回は各居室での待機から1次避難のホールに集まり人員確認をするところまでを実施しました。日中の訓練と違って職員人数が極端に少ない為、安全に避難するには沢山の課題があることがわかりました。今後も訓練を続けながら、確認や対策の検討を続けていきます。

記事:須田秀斗

優良従業員表彰



大谷副主任 中山本部事業部長 瀬端理事長

矢板市商工会では、労使相互の信頼と協力により事業所と地域商工業の発展に寄与することを目的に毎年会員事業所従業員の表彰式を行っています。今回、社会福祉法人たかはら学園は9名が受賞しました。●矢板市商工会館で行われた、第61回優良従業員表彰式には代表として中山部長と大谷副主任が出席しました。

《矢板市長表彰》

・中山訓安

《栃木県商工会連合会長表彰》

- ・岩渕元一・池田貴子・埜亮平
- ・手塚京子・五味渕拓也・大谷友宏
- ・山口てる子・久保井由紀



福祉型障害児入所施設・障害者支援施設 あすなろ

記事:相馬 杏香

競輪選手との交流会

新年会



プレゼント
もらったよ♪

サンタさんが
来ました🎅



クリスマス会🎄



一泊旅行 成人班

なかが和苑に宿泊しました😊

皆、元気に過ご
してします💫

2月6・7日

Yummy



久しぶりの外泊、
楽しかったよ～

節分🍱



楽しく行事や余暇に参加してしま
す。今年もよろしくお願いします！

2日目の帰りにはセブンイレブンで買った昼食を、Café たかはらで食べました★

障害者支援施設

あかしや

記事:菊地 恵里

いただきまーす



誕生日会



短時間外出



Café
たかはら

ドライブがてら好きな食べ物を買って帰り、食べました



2/20.21
一泊旅行



クラブ(音楽)



ひな祭り余暇

なかが和苑に泊まり、帰りに龍門の滝を見てきました



エアロビ

クラブ

記事・荒井 春弥

障害者支援施設
まろにえ

何点とれるかな?

ゴルフ

書初め

お正月

節分

鬼は外福は内

参拝

市内の塩釜神社へ行ってきました

生活介護事業所
デイセンター

記事・森 康繁



誕生日会



運動・クラブ



書き初め



作業(落ち葉掃き)

1月下旬にコロナのクラスターが発生してしまい、関係者の方々には、ご迷惑・ご心配をお掛け致し、誠に申し訳ありませんでした。幸い、大事には至りませんでした。今後、この教訓を活かし、より安全に利用して頂けるように努めて参りたいと思います。

たかはら抄

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者様や地域の方々をお招きしての交流行事は当面中止とさせていただきます。

また、施設内で実施する行事につきましても、感染症対策を万全に行って、分散・少人数で実施しております。

12月	2日	競輪選手との交流会
	10日	クリスマス会
	22日	誕生会
	27日・28日	あすなろ一泊旅行
1月	1日	元日・年賀贈呈
	6日	理事長訓示、新年会
	21日	新規採用職員オリエンテーション
	31日	誕生会
2月	6日	あすなろ一泊旅行
	13日~16日	新任職員現場実習
	28日	誕生会
3月	1日・2日	まろにえ一泊旅行
	6日・7日	あかしゃ一泊旅行
	8日	夜間避難訓練
	9日・10日	あかしゃ一泊旅行
	11日	卒業生を祝う会
	16日	誕生会
	23日	法人理事会（書面決議）
	27日	あすなろ日帰り旅行
	29日	退職者とお別れ会
		法人評議員会（書面決議）
	31日	デイセンター終業式



理事長よりお年賀贈呈

卒業おめでとうございます 3.10



【編集後記】

広報委員長 池田貴子

桜の開花時期が近づいてきました。世間ではマスクの着用が個人の判断となり、様々な規制もゆるやかになってきたように感じます。とはいえ法人内では今後もマスク着用を継続し、感染予防に努めて参ります。次年度は行事に関しても少しずつお客様をお招きできる機会が増やせることを期待したいですね。新たなスタートに向けて、広報誌からもより良い情報発信ができるよう準備を進めていきたいと思います。

池田貴子・須田秀斗・青野紀子・石川佑季子・田口苑花・田中夕里亜・相馬杏香・天野裕美・江面良美・菊地恵里・荒井春弥・青木政裕・森康繁

ご寄付・ご寄贈・ボランティア(12月~3月)

- | | | |
|-----|--|-------------------|
| 12月 | 矢嶋様よりお菓子
永吉様よりもち米
宇梶様より柚
小野崎様より銀杏
小林様（安沢在住）より白菜
安沢ほほえみ会より大根、白菜、サトイモ、衣類他
渡辺瞳様よりりんご1箱、焼き菓子 | 小野崎様より銀杏 |
| 1月 | 小林様（安沢在住）より切干大根 | 渡辺様より
りんご・焼き菓子 |



安沢ほほえみ会の渡辺様・木下様



今年度もたくさんの方々から、様々なかたちでご寄付・ご支援をいただきました。皆様方からの心温まるご支援・ご寄付は、利用者様、職員にとって、大きな支えとなっています。ありがとうございます。

1月下旬から2月初旬にかけて当施設で確認された
新型コロナウイルスの感染について



静養棟の病床

1月27日に、デイセンター利用者、グループホーム利用者からコロナの陽性者が確認されました。その後、2月4日まで連日陽性者が確認され、デイセンターが通常再開できた2月13日までの間に、デイセンター11名、グループホーム14名、職員8名、合計33名の大規模感染となりました。幸い、重症化した方はいませんでした。

これまで、施設では、全職員、就労者、学生に対し、月・水・金と定期的に抗原検査を実施してきたほか、少しでも体調に異変がある利用者や職員に対しては、都度、速やかに抗原検査やPCR検査を行い、感染拡大の防止に努めてまいりました。

それにもかかわらず、今回の感染を防げなかったのは遺憾でありませんが、グループホームやデイセンターならではの課題や対策を再発見でき、貴重な教訓を得ることができました。

今後はインフルエンザにも十分注意しながら、引き続き感染対策に努めて参ります。

ご心配をおかけした関係方々に深くお詫び申し上げますとともに、ご理解とあたたかいご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。



記事: 青野紀子